

hiyokunao torikage

飛鷹調教
報告書

MIYOU
AVENGE
PORNO
FILE



BOTTOMRESSPIT





口はじめておひさしぶりです。
今回は艦これ軽空母飛鷹本に
なりました。
艦むす描きたかったんだよね！

比翼の
鳥籠

一面コンクリート打ちっばなしの部屋
窓には鉄格子がはめられている。
家具といえは簡素なパイプベッドだけで
まるで牢獄のようだ。

カクカク...

部屋の中央に
ぽつんとおかれた椅子
パンツ一丁の提督が
縛り付けられている。

意識を失っていた男が
ほぼ全裸の寒さに
ふるつと
震えて目を覚まし
自身の状況に気が付き
素っ頓狂な声をあげる

なんだよ
これは！

鬼畜提督

ひ、飛鷹？

秘書艦：飛鷹
Lv99

言い残すことは
何かあつて？

ふと男が顔をあげると眼前に
彼の秘書艦である飛鷹が
仁王立ちで立っていることに気がつく
その表情はまるで
養豚場の豚を見るような
哀れみと蔑みに満ちた表情である。

ほ、僕が
何をしたつていうんだよ！
お、落ち着け！
何かの誤解だ！

んんー

言わないと
分からないの？
駄犬

駄犬！

上ずった男の哀れな声に
飛鷹の表情に粉れも無く喜び
嗜虐心を満たされた邪悪で
淫靡な笑みが浮かぶ。

そうよ、何度言っても
理解しないんだから
駄犬よ、だ・け・ん！

いつも男に優しく笑いかけ
少し高飛車な所こそあるが
ベッドの中では従順な飛鷹が
別人のように男を罵る
男はシヨックのあまり
絶句してしまう。

いいわ、最期ですものね

!?

ばさつと床に書類が投げ出され、男が息を呑む。
表紙には鎮守府近海哨戒任務と書かれており、
最近浸透してくる深海棲艦の潜水艦の駆逐任務の概要書であった。

潮に浦風に浜風……
意図が見え見えなのよ！

問題は選ばれたメンバーと
その書類に必要な以上のデータ、スリーサイズやら交友関係、好き嫌い、
あげくにはどこでとったのか水着姿の写真まで添えられていることだった。

対潜任務の
得意な娘を
選んだだけだ？
ひいっ！

言い訳はいらないわ…
このロリ巨乳好きの
変態発提督！

ずどん、と
書類を貫く重刀。
縮み上がる男、とその素丸
必死に言い訳をしようと
するが…

対潜任務になんで
スリーサイズが必要なのよ！
どうせいやらしいこと
しようとしていたんでしょー！

知ってるのよ
特殊任務の遠征と称して
新任の娘たちを
おかしな場所に
送り込んでいるって！

ち、ちがっ！



輕巡までは我慢したわ
でも駆逐艦の娘まで手をたさうなんて…
見下げ果てたわ…

せめて
私の手で逃かせてあげるのが…
最後の慈悲よ

悲しげに言い
飛鷹が大上段に重刀を振りかふる。
明確な殺意に男の心が折れる。

嗜虐心溢れる
実に淫靡な笑みを浮かべて
飛鷹が言う。

待ってくれ！
あ、謝る！
殺さないでくれ！

…一度と他の女に
ちよつかいださないうって
約束できる？

す、す…

ふふふ…
でも駄は必要よね

誰がご主人様が
頭じゃ理解できない
みたいだから

へ？

身体に
教えて
あ・げ・る

持

ん

袴がするりと床に落ち下着を脱ぎ始める飛鷹

え？なにお仕置きって
そういうこと？
もう飛鷹ってばツンデレさん

脱いだ下着を
提督の頭から
かぶせ顔を覆い隠す。
ちようとT督の
Tの字を反対に
したようになる提督。

!?

検閲
検閲
検閲
検閲

77

検閲
検閲



男の股間の間に身体を入れた飛鷹が手にしていたもの。理容室で顔を剃るのに使う道具一式であった。シェービングブラシでたっぷりとしヤホンが男の陰毛に塗りたくられる。

暴れると危ないわよ

や、やめて！

まるで汚物でも触れるかのように男の陰部を指先で摘んでどかし容赦なく剃毛を開始する。ジヨリジヨリと嫌な音共に男の陰毛が剃り落とされてゆく。

アソコの毛剃られながら勃起するなんてとんだ変態ねえ… やっぱ去勢しないとダメかしら

昔私にしたことじゃない忘れたとは言わせないわよ

あ、ああ…やめて…やめてください…

…「私は剃毛されながら勃起しちゃう変態です」って言いなさい、そうしたら去勢は勘弁してあげる

カミソリをちらつかされる恐怖と、巧な飛鷹の愛撫による快感、相反する感情に男の精神がきしみを上げる。

震える声で屈辱的なセリフをときれときれに宣言する提督にかつての自分のふざまな姿が脳裏をよぎり飛鷹の嗜虐心はますます高ぶっていく…

検閲

よくできました、
いいこねえ…ふふ

ばんばんに膨らんだ肉棒から
飛鷹の手が離れる。
パイプ椅子に腰を下ろし
靴を脱ぐ。さきほどまで
足袋に包まれていた白い足先が
男の股間へと伸びる。

そんなに怖がらなくても大丈夫よお、
別に潰そうってんじゃないわ…
気持ちよくしてあげる

女の子みみたいな声
いやねえ気持ち悪い

もう出そうなの？
ビクビクしてるわ…
早漏

変態
足で乱暴に弄くられて
びくびくしちゃって
みっともないったら

そういう飛鷹の表情もまた
快楽に支配されていく、
上気した頬、潤む瞳。
ブラウスのボタンを外し
はだけさせると、
自分の乳房を見せつけるように
もみ始める飛鷹。

限界に達したのだから
男が射精がする。
びゆるびゆると多量の静止が
先端が吹き出し、飛鷹の足を汚す。

びゆるびゆる

びゆるびゆる

検閲

検閲

検閲

はあ

はあ

はあ

検閲

椅子が蹴られ、男ごと倒れる。床に惨めに打ち付けられてた男の口元に飛鷹の足が伸びる。

誰が出てきて良いって言った？

罰よ…舐めてキレイにしなさい

屈辱的な命令。しかしすでに男の理性はこわれていた。命じられるままに自身の精液で汚した飛鷹の足を舌で清める。

口いっぱい広がる生臭さと喉に絡みつく精液の感觸男はほろほろと泣きながら夢中で飛鷹の足を犬のように舐める。

いつまで舐めてるのよ
気持ち悪い……やだ
泣かなくてもいいじゃない？

ちゃんと飲み込みなさいよ……
どう？美味しい？
私が嫌って言ったのに
無理やり飲ませた時のこと覚えてる？

ひやあひやあ

検閲
検閲
検閲
検閲

検閲

子供のよう泣きじゃくる男。
男の拘束を解き、抱きしめる飛鷹。

あんっ！もお…
本当に赤ちゃんみたいねえ…
ほらキレイにしてあげるから
寝そべって

寝そべった男の下半身を
ひっくりかえしまんくり返し

嫌がる男
気にせず尻穴を
つつきつつ
竿を丁寧に舐めて
勃起させる

ひ、ひよう…
はず、ひよう…
はずかしい…
くうっ…



尻穴を唾液でべとべとにしつつ
ほくしつづくすりと笑う、冷めた瞳。
用意しておいたローションを尻に垂らす。

飛鷹の術で足と手を縛られ
まんくり返しに固定される提督。
菊門をくりくりと
刺激すると萎えかけていた
陰部がびくんと跳ねる。

ゴゴゴ

あんなに出したのに…
そんなにお尻がいいの？

なっ
なにをするつもりだ！

ちがっ…ひよう…
やめて…あっ

刺

ビクビク

検閲 検閲 検閲
検閲 検閲 検閲

ギシギシ



菊門に舌を伸ばす飛鷹。
女に尻穴を弄られる恥すかしさと
巧な愛撫に悶える提督

え？ひ…よう？

飛鷹う、何を…やめろっ

私がやめてって言った時
聞いてくれなかったじゃない
出したかったんでしょ？
遠慮しないでいいのよ？
手伝ってあげるわッ！

立ち上がった飛鷹の足がパイプに掛かる。

大丈夫よ…怖くないわ

検閲

検閲

くいとパイプを足で押し込み
根本まで飲み込ませる。
ぐりぐりとパイプを足でいじる飛鷹。
前立腺を強烈に刺激された男が
悶絶しつつ射精！
限界を超え意識が飛ぶ
意識が遠のく中、霞む視界には
滲けきった飛鷹の顔が映った…

ベッドに手足を縛られて、提督の上に跨がり飛鷹が騎乗位で腰を振る。肉棒の根元を禁の術で縛られ、発射できない提督。

出したいの？

検閲
検閲
検閲

しゅ

検閲

フッフどごになにを出したいのかしら？

ひつ飛鷹の子宮工廠に建築資材発射して新造空母建造したいんです

フン！あんたの粗末な主砲なんて私の廃棄物処理孔で十分よっ

ばんばんに勃起した肉棒を尻穴でねっとり犯す。根本まで飲み込むときゅつと括約筋を閉めて男根を締め上げる。絶頂にも似た激しい痙攣を起こす男、しかし射精には至れない。それが何度も繰り返されていた。

おかしくなっちゃうくるっちゃうよおゆるしてえ、しやせえ、しやせえさせてください

くす、いい声...

お

フ

フ

お

お

お

お

お

女の子のように泣き叫ぶ提督に満足したのか飛鷹は射精を許可する。どぶどぶと飛鷹の直腸に精子が注がれる。

んっ…あっ…いっく

内臓に叩きつけられる射精のあまりの勢いに軽く絶頂に達する飛鷹。秘裂から愛液がほとばしる。

しよ…消火ポンプが故障って…
どういふことよ……

あっ、ああ
ひよお、ひよお
飛鷹おおおうっ



感極まったように飛鷹を呼ぶ提督を他所に、
そこそこ満足した、といった感じで
飛鷹は余韻も何もなく
ずるつと腰を上げてベニスを引き抜く。
そのままくいつと
尻穴をだらしなく開いたままの
男の口に押し付けた。

尻穴を緩め、
腸液まじりの精液を男の口に流し込む。

泣きながら飛鷹の尻穴を
舌で清める男

美味しい？
ほら飲みなさい
吐いたら許さないわよ

あなたが汚したのよ
キレイなさい、あなただって
同じことさせたじゃない、
忘れちゃった？

ほら、早く……
ちやんとできたら
今度は優しくしてあげるから

萎えたベニスを優しく握ると
懐から細い棒状のものを
取り出す飛鷹。



医療用の尿道拡張フシーよ

限界を超えた尿道から
飛鷹の顔面めがけて真一文字に
白濁液が発射した。

尻穴をなめさせながら
提督の尿道に
金属のスティックを突き刺す飛鷹

ひい怖い怖いやめてえ

え？なに？ひくうらうらー！

ほらほらおクチがおるすよー！
しっかりお尻を清めないとい
やめてあげないわよ

あらあら
射精しながら糞沈なんて
だらしない軍人さんねえ…
くすくす

…それとは裏腹に
提督の意識は
真つ暗な闇の底に沈んでいった



んっおお!!

提督の私室
ベッドの上。
覚醒と同時に
悲鳴を上げて
飛び起きる提督。

夢? そうだ、
あんなの夢に決まってる

提督?

裸シャツの飛鷹が起きて
眠そうに目をこすりながら
声をかける

どうしたのよ、
怖い夢でも見たの?

飛鷹……聞いてくれ

何い?
また浮気した後の
言い訳?

ドキ



ち…違う
これを受け取って欲しい

感極まって、笑みのまま泣く飛鷹。
その笑顔に心臓がどくんと高鳴る、
我慢できず提督は飛鷹を押し倒した。

本気なの…？

本気だよ
ケッコンしよう
飛鷹

嬉しい…

提督を抱きしめ返す飛鷹。
…その顔には
昏い愉悦に満ちた淫靡な笑みが浮かんでいた。

愛してるわ…私"だけ"の提督…

ベッドの脇のサイドボードから
指輪の入った箱を取り出し飛鷹に見せる。

飛鷹の左手の薬指に指輪を嵌め、
ペアのリングを自分の指にはめる提督。

輕空母
飛鷹提督調教
報告書